

営業日報 Mark II パッケージ版

Version 2.01

インストールマニュアル

2025 年 4 月 14 日
M2 INC.

はじめに

【本資料の目的】

本資料は有限会社エム・ツーが販売する「営業日報 Mark II パッケージ版」をサーバにインストールする方法について説明するものです。

【作業の前にご理解いただきたいこと】

本資料は「営業日報 Mark II パッケージ版」を配布サイトからダウンロードし、利用する意向がある方々を対象として、サーバに設置する方法を説明するものです。ただ、サーバに設置するには**いくらかの専門的な知識も必要な部分**もあり、どのような方でも簡単に設定できるものではないことをご理解ください。ダウンロードいただいた「営業日報 Mark II パッケージ版」のファイル（プログラムソース）は **zip ファイル** ですので、**zip ファイルを解凍できるソフトウェア** で解凍して複数のファイルに戻す必要があります。

この解凍した複数のファイルをインストールするサーバにアップロードする必要がありますが、その際 **FTP ソフト** を使ってアップロードする必要があります。作業を行う PC に FTP ソフトがインストールされていない場合は先に FTP ソフトのインストールを行ってください。

【本資料の構成】

1. 本ソフトウェアの動作環境について
2. インストールするサーバの準備
3. インストールするサーバの環境と設定について
4. インストール前の各ソフトウェアの準備
5. 「営業日報 Mark II パッケージ版」ファイルのアップロード
6. 「営業日報 Mark II パッケージ版」のインストール作業
7. インストール後の本契約について
8. アンインストールについて
9. その他注意事項

【本資料での用語解説】

php (ピーエイチピー)

Web アプリケーションや Web サイトの開発に用いられるプログラミング言語です。レンタルサーバにはインストールされています。apache などのウェブサービスで利用出来、ウェブアプリケーションを素早く便利に構築できる言語です。

wordpress や EC-CUBE など、ウェブアプリケーションで幅広く利用されています。

営業日報 Mark II パッケージ版はこの言語でプログラムが作成されています。

apache (アパッチ)

世界で最も広く利用されている Web サーバーソフトウェアの 1 つです。

サーバ(URL)にアクセスしてホームページを閲覧出来るのはこのソフトウェアが動作しているためです。高い信頼性と拡張性、柔軟性を備えています。apache はその歴史も古くインターネットの黎明期から広く利用されていて、php などが便利に使えるのもこの apache が安定して動作するおかげです。

mysql (マイスキューエル)

リレーショナルデータベース(RDBMS)ソフトウェアです。

通常、「データベースソフト」と呼んでいます。データを保存したり、取り出したり、検索したり、編集したり、そのデータの取り扱いのみに特化し、単体で動作するソフトウェアです。現在のインターネット向けのシステムでは一番多く使われているデータベースと言っても過言ではないでしょう。利用するにはサーバにインストールし、データなど保存するには、「サーバ名」「データベース名」「ユーザー名」「パスワード」などを指定して保存するためのコネクションを作成してから、データを渡すことで保存できます。アプリケーションの構築に広く利用されていて、wordpress、EC-CUBE など php とセットで利用されることが多いです。

レンタルサーバでも通常は用意されていますが、レンタルサーバの場合データベースがインストールされているサーバは、レンタル契約で使うサーバとは別に用意されていて、データベースインスタンス(データベースを使うための口座のようなもの)は別に指定して作成する必要がある場合が多いです。

FTP (エフティーピー) File Transfer Protocol

ネットワーク上でファイル転送を行うための通信プロトコルです。

具体的には、Web サイトの公開のためウェブサーバーへ html ファイルや画像ファイルをアップロードするために利用される手段(仕組み)です。

通常、「FTP する」と言えば、このプロトコルを使えるソフトウェアでファイルをアップロードしたり、ダウンロードしたりすることを指します。

FTP ソフトとして有名なものは以下のものがあります。

- FFFTP (Free)
- FileZilla (Free)

zip ファイル

zip ファイルとは、複数のファイルを 1 つにまとめたり、データを圧縮して容量を小さくしたりしたファイル形式です。拡張子は「.zip」です。大容量のファイルのやり取り、複数のファイルをまとめて配布する際などに用いられます。

zip ファイルは最近の PC(windows や Mac)では、OS に標準で解凍する機能が付属しています。

1. 本ソフトウェアの動作環境について

「営業日報 Mark II パッケージ版」ご利用にあたりましては以下の環境でご利用いただけることをご確認ください。

- 本パッケージ版は、ウェブサービス(apache などのプログラム)が稼働しているサーバにインストールし、ウェブサービスを利用してクライアント PC がサーバにアクセスしブラウザにて利用が可能となるアプリケーションです。
- インストール先のサーバの内容につきましては、後述のサーバ環境の項目を参照ください。
- PC(Windows Mac など)にインストールしてご利用いただくタイプのアプリケーションではありません。
- iPhone Andoroid などスマートフォンにインストールしてご利用いただくタイプのアプリケーションではありません。
- 「営業日報 Mark II パッケージ版」は、さくらのレンタルサーバをご利用いただくことを前提に簡単にインストール出来るよう最適化させていただいております。
- もちろん、さくらインターネットのレンタルサーバ以外のサーバでもインストールしてご利用いただくことは可能です。その場合、サーバはUNIX OS(※用語解説)が動作するサーバが必要で、サーバの環境要件(以下後述)が満たされているサーバであればご利用いただけます。

※) UNIX OS (ユニックス オーエス)

コンピューターのオペレーティングシステム(OS)の一種で、マルチタスクやマルチユーザーに対応しています。1969年にAT&Tベル研究所で開発され、現在でも広く使用され、現在インターネットなどサーバ系のOSのシェアではUNIXが圧倒的に多数派と言われています。

2. インストールするサーバの準備

本システムをご利用いただくために、ウェブサービスが稼働しているサーバをご用意ください。

先に述べましたが本システムは「さくらインターネットのレンタルサーバ」をご用意いただければ簡単に設定、インストールが可能です。さくらのレンタルサーバであれば、「スタンダード」「ビジネス」「ビジネスプロ」どのプランでも十分ご利用いただけます。もちろん、さくらインターネットのサーバ以外でもサーバ環境要件を満たしていればインストールいただけます。

3. インストールするサーバの環境と設定について

※インストール出来るサーバのオペレーションシステムは以下です。

※ さくらインターネットのレンタルサーバは以下の要件すべて満たしています。

OS(オペレーションシステム):

- UNIX系 OS RedHat8,9 AlmaLinux8,9 RockyLinux8,9 など Linux系 OS
- FreeBSD NetBSD OpenBSD BSD/OS などのBSD系 OS
- SunOS(Solaris)系 OS、AIX系 OS、hp-ux系 OS

サーバにインストール必要なソフトは以下です。

- apache Ver 2.2.x 以上のバージョン。
.htaccess が利用できる設定であること。
- mysql ver 5.4.3 以上のバージョン。 ※mysql Ver 8.0 を推奨します
- openssl (apache のバージョンに応じたバージョン)

- php Ver 8.0 以上 ※ php Ver 7.x 以下では動作しませんのでご注意ください
php に必須のライブラリなど。php.ini の編集も必要となります。
- vsftpd FTP が行えるサーバソフト。
- postfix もしくは sendmail qmail など (メールを送信するのに必要となります)
- UNIX OS に付属の最低限の開発ツール類など。

その他注意事項

サーバのハードウェアの処理能力につきましては強力な処理能力は必要ありません。

提供されているレンタルサーバの能力があれば十分です。

サーバはオープンなネット環境(インターネットなど)あるいは、閉じたネット環境(ローカルネット)どちらかのネットワークでウェブアプリケーションを公開できるネットワーク内に設置されていなければなりません。

※さくら以外のレンタルサーバをご利用の場合、契約したユーザディレクトリより下層にウェブ公開サイトのトップディレクトリが配置出来る構造であることが必要です。

セキュリティの観点から公開ディレクトリより上階層に重要なデータを配置しますのでこの機能は必須です

基本的には、SSL アクセスでのご利用が前提となりますので、それが可能なプランのご契約いただく必要があります。 ※ 社内の LAN など閉じたネット環境でのご利用の場合必要ありません。

4. インストール前の各ソフトウェアの準備 (設定と確認)

【php】

- サーバに php(version 8.0 以上)がインストールされていることをご確認ください。

さくらのレンタルサーバであれば、

「スクリプト設定」→「言語のバージョン設定」をクリックし「PHP のバージョン」から、設定のセレクトで最新のものを選択・設置下さい。その際、(モジュールモード)のタイプを選択ください。表示速度など動作が早いです。

The image shows the Sakura Server Control Panel interface. On the left, the 'Script Settings' menu item is highlighted with a red dashed box. On the right, the 'Language Version Settings' page is displayed. The 'Perl' section shows the current version as 5.14.4. The 'PHP' section shows the current version as 8.3.8 (Module Mode) and a '設定' (Settings) button. A red arrow points from the 'Script Settings' menu to the 'PHP' section.

さくら以外であれば、あらかじめ php のバージョンを確認してから、プランのご契約を行ってください。
サーバを独自でインストール、設定される場合は、まず Apache のインストールを行い、その後 php のインストールを行ってください。

php の動作環境を設定するファイルが php.ini ですが、下記項目の設定に変更してください。
さくらインターネットでは、既述（上記参照）の「スクリプト設定」→「php.ini 設定」を選択クリックしてテキストエリアに下記項目をコピー&ペーストして保存してください。

php.ini の設定

```
magic_quotes_gpc = off
upload_max_filesize = 256M
post_max_size = 288M
memory_limit = 512M
```

php.ini ファイルが設定出来ない環境の場合、本システムのデータアップロード後、ベースディレクトリ(ウェブから最初にアクセスされる場所)に「.htaccess」というファイルが保存されていますのでこのファイルの下記部分の「#」を削除して有効にさせて保存しなおしてください。

.htaccess ファイルの下記部分

```
# php_value max_execution_time 180
# php_value upload_max_filesize 256M
# php_value post_max_size 288M
# php_value memory_limit 512M
```

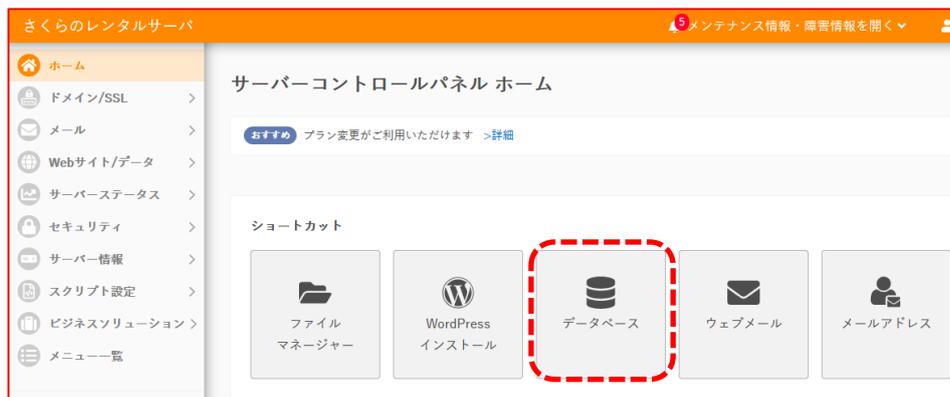
※) # を削除し保存しなおすことで有効になります。

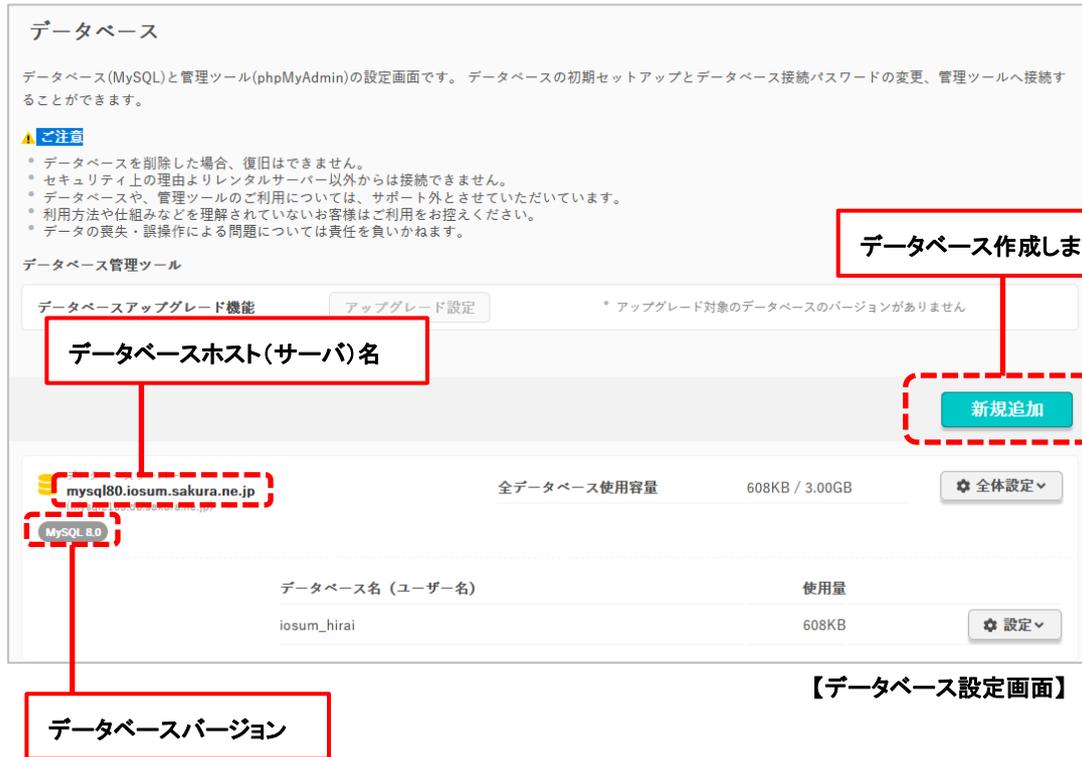
- ※ php がモジュールモードで動作している場合、この説明の.htaccess では有効にならない設定項目がありますのでご注意ください。
- ※ この一連の設定は快適に「営業日報 Mark II パッケージ版」をご利用いただくためのもので、この設定が無しで利用出来ないわけではありませんが、写真データダウンロードやバックアップを行う際、制限がかかり有効にご利用いただけない場合があります。

【Mysql】 ※データベースソフト

サーバに mysql (version 5.4 以上 8.0 推奨) がインストールされていることをご確認ください。

※さくらインターネットの場合はログイン直後の→データベース(下図参照) から確認できます。





mysql に、「**営業日報 Mark II パッケージ版**」で利用するため新しい**データベースを作成**してください。
その際、入力した内容を別メモに控えておいてください。

【データベース作成時、記録しておく情報】

- 「**データベースホスト(サーバ)名**」 (apache が動作するサーバと同じなら localhost となる)
※さくらレンタルサーバの場合上記の「**データベースサーバ名**」 上記【データベース設定画面】参照
- 「**データベース名**」
- 「**データベースユーザ名**」 ※さくらの場合データベース名と同じです。
- 「**データベースパスワード**」 ※接続用パスワードです。
※さくらのレンタルサーバであれば以下の手順で行ってください。

さくらのレンタルサーバ場合以下の項目名で、任意につける以外は下記通りに選択ください。

データベースバージョン: 8.0
 データベース名: 初期名(申し込んだID名)_希望する名称
 データベース接続用パスワード: *****
 データベース文字コード: UTF8 (utf8mb4) を選択
 同意: 「同意する」にチェック入れる

「作成する」ボタンをクリック → 数十秒で作成完了します。

以上で、データベースが作成されます。 **※必ず入力したものを控えておいてください。**

レンタルサーバ以外の場合は以下

自前で用意されたウェブサーバの場合、**Mysql** をインストールする必要があります。

- mysql をインストールした後、営業日報 Mark II で利用するためのユーザーを登録してください。このユーザは「スーパーユーザ[root]」でも構いません。
- 営業日報 Mark II パッケージ版」で利用する「データベース」を新規作成してください。文字コードは UTF-8 で作成して下さい。
- 「営業日報 Mark II パッケージ版」で利用、登録するユーザは作成した「データベース」を操作出来る権限が付与されていなければなりませんので注意下さい。
- 作成した「データベースホスト(サーバ)名」「データベース名」「ユーザ名」「パスワード」を控えておいてください。

【apache】 アパッチ

※ さくらのレンタルサーバの場合は特に設定の必要はありません。

※ SSL を有効にする場合はマニュアルを参照して利用するドメインのSSL化を行ってください。

レンタルサーバ以外の場合は以下

自社でウェブサーバを設置される場合は **apache** のインストールにおいて、**php の動作が可能**なように設定して下さい。

apache は「**suEXEC モード**」で動作させていただく必要があります。

「営業日報 Mark II パッケージ版」が最適に動作出来るよう、.htaccess で ModeRewire などのモジュールが制御できるよう httpd.conf の設定を変更して置いて下さい。

SSL アクセスを利用する場合は、サーバ内で、CSR を作成し、ご希望の認証局へ CSR をもって申し込む必要があります。詳しくはその認証局のサイトのマニュアルに従ってください。

また、.htaccess で php.ini の代替設定を行う場合、FastCGI や PHP-FPM といった実行モードでは代替設定はできません。

5. 「営業日報 MarkII パッケージ版」のファイルのアップロード

本資料をすでにご覧いただいているのでファイルの解凍は成功し、下記のようなディレクトリが PC に存在していると思います。

```
sreport-2.01-M8T6EEZWR8JF.zip      ・ ・ (例) 解凍前のファイル
↓
sreport-2.01-M8T6EEZWR8JF/        ・ ・ (例) 解凍後フォルダ (ディレクトリ) となります
```

フォルダ名の **2.01** の部分が本パッケージのバージョンとなります。

sreport-2.01-*****/ ディレクトリの中は以下のファイル、ディレクトリ構成になっています。

- ・ coresystems
- ・ www
- ・ 営業日報パッケージ版インストールマニュアル_2.01.pdf

coresystems と www の2つのディレクトリを中身ごとサーバにアップロードしますが、以下の手順に従ってアップロードください。

【さくらインターネットのレンタルサーバの場合】

この場合、契約後提供されるサーバスペースは、以下となります。

/home/**初期ドメイン名**/www/

/home とは UNIX OS の 慣習で ウェブサイトのデータ、コンテンツを置く場所のトップディレクトリ名です。初期ドメイン名は、さくらインターネットのプラン申し込み時に申請するユニークな名称で他の契約者と重複しない名称で契約しているはずですので、この初期ドメイン名(ディレクトリ)以下が契約者が利用できるスペースとなっています。www は名称変更出来ない特殊なディレクトリで、契約者がウェブサイト公開時、所定のドメインを設定し外部からアクセスがあった場合この www にアクセスが着地するようになっています。

ここからは、独自のドメインを無料で追加設定して利用する場合と、ドメインレジストラで登録した有料のドメインを使う場合の2つの場合に分けてご説明します。

■ 無料のドメイン追加して使う

ドメインを追加登録します。さくらインターネットのコントロールパネルログイントップから、「ドメイン/SSL」→「ドメイン/SSL」でドメインリストを表示させてください。ここで、ターコイズ色のボタンで、「ドメイン新規追加」というボタンをクリックしてください。

「ドメインを新規追加」ページとなります。ここで「さくらインターネットのサブドメインを使う」欄に申し込みます。

※ さくらでは無料で利用できるドメインが多く用意されています。

ここで、前のテキスト BOX に希望のサブドメイン名を入力し、「選択してください」のリストから、ドメインの主部を選択します。例えば「matrix.jp」など。サブドメイン名はさくら契約時に申請したサブドメインでも OK です。これで 追加ボタンをクリックすれば 新しくドメインが追加され利用出来るようになります。

■ 独自ドメイン (onamae.com など他レジストラで取得したドメイン)

さくらインターネットのコントロールパネルログイントップから、「ドメイン/SSL」→「ドメイン/SSL」でドメインリストを表示させてください。ここで、ターコイズ色のボタンで、「ドメイン新規追加」というボタンをクリックしてください。ここでは一番下にある「他社で取得したドメインを移管せずに使う」を選択、「追加」ボタンをクリックしリストに追加します。ただ、ここでまだレジストラで契約出来ていない場合は追加できません。

こちらの設定では、さくらインターネットでの作業の他、契約したドメインレジストラ(例えば お名前.com など)のコントロールパネルにログインし、さくらインターネットのDNSサーバで利用できるようにネームサーバの変更が必要となります。その際のネームサーバ名は以下となります。

- ネームサーバー1 ns1.dns.ne.jp
- ネームサーバー2 ns2.dns.ne.jp

■ ドメインにアクセスポイントを設定

これから、システムをインストールして利用しますが、メンテナンスなど考慮し以下の設定を行います。

利用するドメインのアクセス設定を www 以下 html というディレクトリを作成します。

さくらコントロールパネル、「ドメイン/SSL」→「ドメイン/SSL」でドメインリストを表示させてください。

さくらのレンタルサーバ

メンテナンス情報・障害情報を開く

iosum.sakura.ne.jp

ドメイン/SSL

サポートサイト・参考外部リンク

ドメインに関するSSL、メール利用、Webサイト利用の設定ができます。

- DKIM署名、ARC署名、DMARCを設定したい

ラベル凡例

初期ドメイン: 初期

⚠️ ご注意

- 追加したドメインがインターネット全体へ反映されるまでに、数時間～2日程度かかることがあります。
- ドメインの有効期限はさくらインターネットが発行するドメインのみ表示されます。

追加済み4/200個

ドメイン新規追加

| ドメイン名 | SSL | WEB公開フォルダ | メール利用 |
|-------------------------------|------------------|------------|-------|
| hirai.sakura.tv 有効期限: - | 共有SSL 有効期限: - | ~/www/html | 全ユーザー |
| iosum.matrix.jp 有効期限: - | 共有SSL 有効期限: - | ~/www/html | 全ユーザー |
| iosum.ne.jp 有効期限: - | - 有効期限: - | ~/www/html | 全ユーザー |
| 初期 iosum.sakura... 有効期限: - | - 有効期限: - | ~/www/ | 全ユーザー |

基本設定

マルチドメイン設定

DKIM/ARC設定

DNSレコード設定

WAFドメイン設定

設定

利用するドメイン「設定」→「基本設定」をクリックし「ドメイン設定」画面を表示させます。

ドメイン設定

基本設定

マルチドメインとして利用する

マルチドメインを選ぶとドメイン名でアクセスしたとき、指定したフォルダを既定のフォルダとして表示します。以下のURLがご利用いただけます。

- http://iosum.matrix.jp

wwwが付与されたサブドメインも利用する

以下のURLがご利用いただけます。

- http(s)://iosum.matrix.jp/
- http(s)://www.iosum.matrix.jp/

さくらのブログで使用する

メールでの使用はできなくなります

SSL利用中のため選択できません

新さくらのブログで使用する

Web公開フォルダ

~/www/html

サイト内検索が有効または、初期ドメインの場合、Web公開フォルダの変更はできません。

IPv6アドレスの使用

利用する

- IPv6アドレスの設定変更が反映されるまでに数時間程度かかる事があります。設定されるIPv6アドレスはサーバー情報をご確認ください。
- 本設定を行いますと、ゾーン情報が書き込まれます。
- ゾーン設定にて、各項目(Aレコード・MXレコード等)を編集されていた場合、情報が初期化されます。
- お客様にてゾーン情報を編集されている場合、ドメインコントロールパネルより直接編集いただく事をお奨めします。

SSLの利用

SSLを利用する

証明書未登録のドメインではSSLをご利用いただけません

HTTPS転送設定

HTTPSに転送する

www転送設定

- www.iosum.matrix.jp に転送する
- iosum.matrix.jp に転送する
- 転送しない

保存する

【ドメイン設定】は以下設定

| | |
|-----------------|--|
| マルチドメインとして利用する: | 選択チェック |
| Web 公開フォルダ: | ~/www/ html と入力する。 |
| IPv6 アドレス使用: | <input type="checkbox"/> 利用する → チェックしない |
| SSL の利用: | <input checked="" type="checkbox"/> SSL を利用する → チェックする |
| HTTPS 転送設定: | <input type="checkbox"/> HTTPS に転送する → チェックしない |
| www.転送設定: | <input type="radio"/> 転送しない → 転送しないにチェック |

以上、設定してから、「保存する」をクリックし保存します。

サーバのドメイン関係の設定は完了ですが、独自ドメインを取得している場合は **SSL の認証局契約(有料と無料あり)の必要があります**。この場合、「設定」メニューの「SSL 設定」から希望の認証局を選択し支払いを完了させて認証証明書を有効にしてください。

■ FTP によるファイルアップロード

- ・FTP のソフトに設定を行い、ご契約のさくらインターネットへ接続できるようにしてください。
- ・FTP でレンタルサーバへ接続します。
最初につながるディレクトリは以下となっているはずです。

→ /home/**初期ドメイン名**/www/

- ・FTP ソフトの画面構成は左側窓(PC 側)、右側窓(サーバ側)が並ぶ構成となっています。
- ・右側窓(サーバ側)の **www** をダブルクリックして **www** に入ります。
- ・この右側窓のなかにカーソルを置いて右ボタンで「フォルダ作成」でフォルダを作成、「**html**」という名にしてください。 **※他の方法でもディレクトリを作成できます。**
- ・作成した「**html**」フォルダをダブルクリックし中に入ります。
- ・左窓には解凍した「**営業日報 Mark II パッケージ版**」ソースフォルダを表示させます。
- ・ソースフォルダの中の **www** をダブルクリックし中に入ります。
- ・**www** の中のファイル、フォルダをすべて選択し、右側窓(サーバ側)へアップロードします。
- ・これで **www** の中身がすべて **html** フォルダの中にアップロードできました。
- ・次に、左側窓(PC側)の操作で一つ上のフォルダに移動します。
- ・**coresystems** と **www** 2つのフォルダが見えているはずですが。
- ・右側窓(サーバ側)も一つ上のフォルダに移動し **www** フォルダの中となります。
- ・左側窓(サーバ側)の **coresystems** フォルダを選択します。
- ・アップロードボタンをクリックし **coresystems** フォルダごと右側窓(サーバ側)へアップロードできます。
- ・これで、**www** 以下に、**coresystems html** ディレクトリが作成されデータがすべてアップ出来ました。
- ・さくらインターネットレンタルサーバの場合はこれでインストール準備完了です。

【他のレンタルサーバ、独自サーバの場合】

インストールするサーバーに「FTPアクセス」できる環境を設定してください。

独自サーバの場合は、**FTPD** ソフトウェアをインストールして、最適に設定を行ってください。

レンタルサーバの場合はすでに FTP が出来る環境ですので、FTP でサーバにアクセスできる設定を行ってください。

FTP でサーバに接続してください。

【初期登録画面】

営業日報 MarkII インストール

データベース情報

| | | |
|-----------------|----------------------|--|
| データベースホスト(サーバ)名 | <input type="text"/> | <ul style="list-style-type: none">・レンタルサーバのデータベース設定を先に行ってください。・そこに記述されていたデータベースホスト名をここに入力下さい。 |
| データベース名 | <input type="text"/> | |
| データベースユーザー名 | <input type="text"/> | |
| データベースパスワード | <input type="text"/> | |

スーパーユーザー情報

| | | |
|-----------------|--------------------------|---|
| スーパーユーザーID | <input type="text"/> | |
| スーパーユーザーパスワード | <input type="password"/> |  |
| スーパーユーザーメールアドレス | <input type="text"/> | |

サイト情報

| | |
|------|-----------------------------------|
| サイト名 | <input type="text" value="営業日報"/> |
| 容量上限 | パッケージ版では制限はありません |

インストール画面から、当該行にフォーカスで説明が表示されますので、それに従って入力下さい。
すべて入力を行い「作成」ボタンをクリックすると入力値に間違いがなければインストール完了となり、
下記インストール完了画面となります。

営業日報 MarkII インストール

これでインストールは完了です。
こちら からログインしてください。

無料お試し期間は 40 日間となっております。よろしければ 40 日以内に正式ご契約下さい。
インストール完了後は、サポートサイト <https://www.sales-report.jp/support/manual.html> の
【管理者マニュアル】をご覧ください、まず行うことをご確認ください。一般のメンバーには**【スタートアップマニュアル】**をご覧ください、一通り操作の方法ご御覧ください。

7. 「営業日報 Mark II パッケージ版」の本契約について

無料ダウンロード、お試しでのインストールご利用後、ご利用にご納得いただいた場合は、インストールした「営業日報 Mark II」サイトへスーパーユーザにてログインしていただき、トップメニュータブの「管理」→「認証キー登録」をクリックいただいた画面にて、本契約のお申込みをいただけます。

お支払いは現在「銀行振込」のみとなっておりますのであらかじめご了承下さい。

正式ご購入（利用）申込みフォーム

ご利用レジストID : **M8T6EEZWR8JF**

ご利用開始日 : 2025年03月17日

ご利用期限日 : 2025年04月26日 **残り 8日**

お振込み名義 :

申し込み送信

- お申込みは、かならず「振込み名義」を入力してお申し込み下さい。
- お申込み後、ご案内のメールがスーパーユーザ登録メールアドレスに送信されます。
記載されている弊社銀行振込口座に**49,500円(税込み)**をお振込みください。
- 弊社にて、ご入金確認後、認証キーをメールにてお送りいたします。
- 認証キーをこのフォーム内でご登録いただくと正式登録が完了します。

お申込みいただき、お振込み完了後に弊社からメールにて認証キーのご連絡を差し上げます。
その認証キーを本ページでご登録いただくことで、正式ご購入、認証キー登録の完了となります。

認証キー登録

ご利用開始日 : 2025年03月17日

ご利用期限日 : 2025年04月26日

お試しご利用期限 : **残り 8日**

認証キー入力 :

登録

- 正式のご購入申し込みは完了しています。
- 下記弊社振込銀行口座に、代金**49,500円**（税込み、税抜き代金**45,000円**）の銀行振込をお願いいたします。
銀行名: 京都銀行 四条支店 店番111 口座名義: (有)エム・ツー 普通預金 4004260
- でに振込みいただいている場合は、認証キー連絡メールをお待ち下さい。
- 認証キーはこのフォームでご登録いただくことで正式登録が完了します。

8. その他注意事項

営業日報 Mark II の操作に関して、営業日報 Mark II のサポート情報をご覧ください。

※ サポートサイト <https://www.sales-report.jp/support/manual.html>

| | |
|--------------------|---|
| 【メンバースタートアップマニュアル】 | https://www.sales-report.jp/support/start_up_manual.pdf |
| 【管理者マニュアル】 | https://www.sales-report.jp/support/manager_manual.pdf |
| 【メンバー利用マニュアル】 | https://www.sales-report.jp/support/reference_manual.pdf |

「営業日報 Mark II パッケージ版」では、システム機能の改修お見積りなどのサポートは現在のところ受付ておりません。

機能に関しまして不具合、バグなど見つかりましたら、スーパーユーザーでのログイン時「管理」メニューの「アップデート」をクリックしてご確認ください。

修正情報を公開させていただいている場合、システムの更新が可能となります。

ただ、システムの新規機能付加によるアップデートは本機能では配布予定はございませんのであらかじめご了承ください。

9. アンインストールについて

今回はご契約の意志がなく、削除をご希望の場合は下記項目に従って削除ください。

- インストールしたサーバにFTPでアクセスし操作できる状態にしてください。
- インストールした coresystems ディレクトリごとすべて削除します。(ディレクトリを選択→削除ボタン押す)
- www 以下に作成した html ディレクトリ(ウェブアクセス着地フォルダ)をディレクトリごと削除します。
- coresystems と同階層に user-data というフォルダが作成されていますので削除します。
- データベースにアクセスし、当初作成したデータベースを削除します。
 - ※ さくらインターネットのデータベース削除はコントロールパネルへログインし、データベースメニューから削除ください。
 - ※ その他の場合は最初に作成した手順に従い、削除してください。